

『指輪っかテスト』 で自己チェックを!

まずは自分の筋肉量を測ってみましょう。
計測器は使わずに自分の指を使う簡易型のチェックです。



両手の親指と人差し指で輪を作ります。

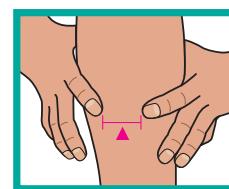
1



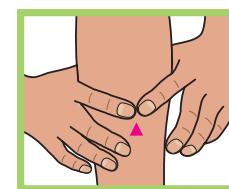
利き足ではない方のふくらはぎの一番太い部分を力を入れず
に軽く囲んでみましょう。

2

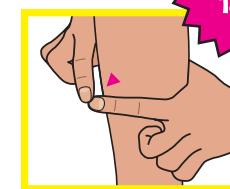
筋肉が衰える現象をいいます。
サルコペニアとは、年をとるにつれて、



囲めない



ちょうど囲める



隙間ができる

低い

サルコペニアの危険度

高い

転倒・骨折
などの
リスク

サルコペニアの危険度の高まりとともに、様々なリスク
が高まっていくことがわかってきています。

Q1 ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気をつけた食事を心がけていますか

はい いいえ

Q2 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか

はい いいえ

Q3 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛みきれますか

はい いいえ

Q4 お茶や汁物でむせることができますか *

いいえ はい

Q5 1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか

はい いいえ

Q6 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか

はい いいえ

Q7 ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか

はい いいえ

Q8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか *

いいえ はい

Q9 1日1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか

はい いいえ

Q10 自分が活気に溢れていると思いますか

はい いいえ

Q11 何よりもまず、物忘れが気になりますか *

いいえ はい

※「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した柏スタディをもとに考案されました。

『こんなことも分かります』 自分の状況を知ってみよう!

フレイルチェックでは、筋肉量やお口の機能について詳
しく測定することができます。是非ご参加ください。



11月『イレブン・チェック』 みんなでやってみよう!

フレイルの兆候があるかどうか
11の項目に答えてみましょう。

『イレブン・チェック』表



『イレブン・チェック』11項目



栄養
食・口腔



運動



社会
参加

Q1 ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気をつけた食事を心がけていますか

はい いいえ

Q2 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか

はい いいえ

Q3 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛みきれますか

はい いいえ

Q4 お茶や汁物でむせることができますか *

いいえ はい

Q5 1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか

はい いいえ

Q6 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか

はい いいえ

Q7 ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか

はい いいえ

Q8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか *

いいえ はい

Q9 1日1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか

はい いいえ

Q10 自分が活気に溢れていると思いますか

はい いいえ

Q11 何よりもまず、物忘れが気になりますか *

いいえ はい

※ Q4・Q8・Q11は「はい」と「いいえ」が逆になっていますので注意してください

※ 回答欄の右側に○が付いた時は要注意です



みなさん楽しく参加されています



筋肉量の測定



お口の機能の測定



片足立ちテスト

フレイルチェックを定期的に(半年あるいは1年に1回)測定しましょう。

健康寿命に大切な3つの柱！

東京大学高齢社会総合研究機構が実施した「栄養とからだの健康増進調査」結果の分析を進めていくと、フレイルを予防して健康長寿を実現するために大切な3つのポイントが見えてきました。

それが、**栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加**です。これら3つの柱は相互に影響し合っており、特に社会参加の機会が低下すると、フレイルの最初の入り口になりやすいうことが分かってきました。



フレイルサポーターになって 楽しく社会参加をしてみませんか？

フレイルチェックは、フレイルサポーターが中心になって実施されています。皆さんと同じ地域に暮らし、一定の研修を受けた方が、まちの健康づくりの担い手として活躍しています。フレイルチェックを実施している自治体では、定期的にフレイルサポーターの募集や養成を行っています。



IOG 東京大学 高齢社会総合研究機構
INSTITUTE OF GERONTOLOGY, The University of Tokyo

・本郷キャンパス：〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1工学部8号館713号室 ・柏キャンパス：〒277-8589 千葉県柏市柏の葉5-1-5第2総合研究棟110

2016年8月版

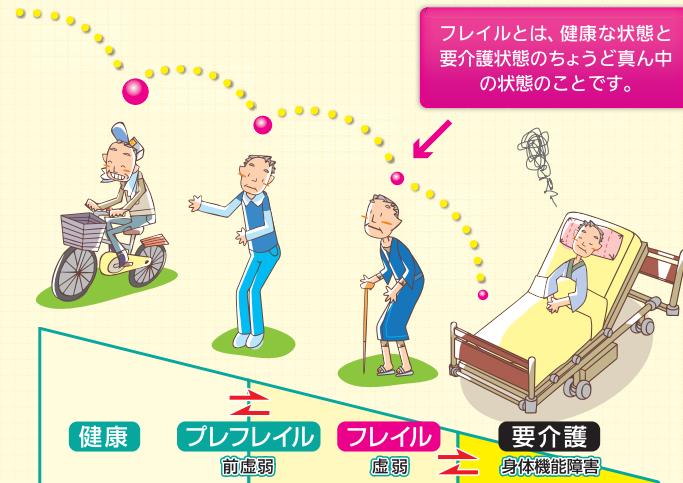


フレイルを予防 して健康寿命を のばしましょう

監修：飯島勝矢 教授
東京大学高齢社会総合研究機構

フレイルってなんだろう？

年をとって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル」と言います。フレイルは「虚弱」を意味する英語「frailty」を語源として作られた言葉です。多くの人が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態に陥ると考えられています。



フレイルチェックのプログラムで、 フレイルについて学んでみませんか？

フレイルの兆候をチェックする
プログラムが開発されました。
全国から注目され、その取り組みが拡がっています！

